随筆②
本文8ポ
26字詰26行
二段組ミ

1

No.

パゾリーニを哭す

小田切秀雄

パゾリーニがローマの郊外で少年に殺されたという短い外電が新聞の片隅に出たとき、とっさにわたしはホモ事件かな、と思った。翌日の新聞はやや大きくそのことを報じ、わたしのカンが当っていたことを示した。

2

No.

いや、カンというほどのことでもなかった。一九六〇年の秋、ローマでかれと会う直前に、わたしはかれがホモだということを知った。当日かれと会う段取りになっている、とグラムシ研究所の文学部主任のサリナーリに話したら、あれはいい作家なのだがホモなので……と、いうことで、あえかな 若者のに パゾリーニをイタリア共産党は迎え入れる まず会わねばならぬ、というばかりだった。かれがホモだということは